

今回設工認における建物・構築物の地震応答解析に用いる  
地盤モデルに関する基本ロジック

- 入力地震動の算定では解放基盤表面（T. M. S. L. -70m）以浅の地盤モデルを用いている。
- 当該敷地は f-1 断層および f-2 断層を境に地質構造が異なることから、敷地を3つのエリア（中央地盤、東側地盤、西側地盤）に分類して地盤モデルを設定している。
- それぞれのエリアにおける地盤モデルの諸元については、それぞれのエリア内でエリア全体を（平面的に）網羅するように実施したボーリング調査・PS 検層等に基づき設定している。
- 具体的な設定は、ボーリング調査・PS 検層等の結果から地盤は地下構造に大きな傾斜や地質層序の違いはなく、概ね水平成層に広がっているとともに、概ね同様な速度構造となっていることから、調査結果の平均値を用いている。

以 上